

# ききょう

沼津市立大岡南小学校  
平成20年6月11日 第6号  
TEL962-0355 FAX962-7644

<http://www.numazu-szo.ed.jp/ookaminami-e/>

- [ 学校教育目標 ] 健康で豊かな心を持ち、自分を伸ばす南っ子の育成  
[ 児童の合い言葉 ] なかよく、かしこく、元気よく

## 校地内への【 車の乗り入れ禁止 】について

正門から自家用車で子どもさんを送迎する姿を毎日のように見えていました。いろいろな事情があることでしょう。毎日車いすで生活されている子ども、けがをして松葉杖をついて車から降りてくる子ども、大きな荷物を抱えている子ども等です。それ以外にも、下校後に予定している通院や行事等のためのお迎えもあります。

以前から学校でも危険を感じていましたが、先月雨が降っている日に沼津警察署から子どもの安全確保のため警戒に来られていた警察官さんから下記のような指摘がありました。

- ①駐車場で子どもの歩く線と、車が動く線が交差していて、危険性が非常に高い。
- ②狭い駐車場に多くの車が入ってくると危険性が高い。
- ③雨天の時、子どもが傘をさしていると、その視界が狭くなり、車と接触する可能性が高まる。
- ④子どもは玄関前を絶対安全だと信じ切っていることから、事故の起こる可能性がある。等々警察官からだけでなく、地区の補導員さんからも同様の指摘が以前からありました。

つきましては、朝7時30分から下校(4:10頃)が終わるまでは、原則として正門からの乗り入れを禁止したいと思います。ただ、

- ◎車いす使用の子どもさんや、病気・骨折したときの登下校
- ◎重たい荷物がある場合
- ◎校内でのけがや、急な病気で保護者のお迎えをお願いした時等 は当然除きます。

特に、雨降りの日、我が子が濡れるのは忍びないでしょうが、事故をおこしたら大変です。逆の立場で、我が子がそこで事故に巻き込まれた場合を考えるとご理解を得られると思います。ご協力をお願いします。

なにはともあれ、事故が起きてからでは遅いです。公園入り口の横断歩道にも十分な注意をお願いします。

## 【 自転車ヘルメット着用 】について

改正道路交通法が6月1日から施行されました。その中で、児童を保護する責任あるものは、子どもを自転車に乗せるとき、ヘルメットをかぶらせるように努めなければならなくなりました。

以前から言い続けていますが、子どもの命と安全を守るためにこれからも、是非口が酸っぱくなるほど徹底させましょう。 それにしてもいつもヘルメットをかぶっていたマツ先生は偉かった。

## 『自覚・協力・学び合い』の中から 【 生きる力を 】 育む。

5月28日～30日、5年生119人全員は、沼津市立少年自然の家に自然教室に行ってきました。親元から離れて、初めて友達や先生と一緒に寝食を共にする子どもがほとんどでした。きっと期待や不安があったことでしょう。

初日と3日目は天候に恵まれ予定通りでしたが、2日目は雨天で飯ごう炊さんの全てができず、野菜を切ることだけ行いました。防災ラーも部屋の中で行いました。

自然の家での生活は、お菓子も清涼飲料水などのおやつ、大好きなテレビやゲーム、自分の部屋や空間等何もない生活でした。その上、息苦しく、わずらわしいと感じるかもしれないきまりがある集団生活の中、わずか2ヶ月しか付き合いがない友達との共同生活でした。でも、友達と一緒に過ごす楽しさがとても大きかったようでした。

### 校長として嬉しかったこと

①事前に保護者をお願いしておいたこと→→ご飯粒は一粒もお茶碗に残さないこと。

驚くことに、ほとんどの子どもが最初の夕食からお父さんやお母さんからしつけされたことを実践していました。以前からできていたかもしれませんが、119人のお茶碗を見て感激しました。やはり、子どもを育てるには学校と保護者が協力することが大切です。そうすると、相乗効果でより子どもが育つと。部屋の中での自分の荷物の片付けについても、きちんとできる子どもが多かったです。

また、学校へのお迎えを保護者に遠慮してもらいました。自分の荷物を持って自分の足で帰宅することの大切さ。きっと親としてせつない思いをされた方もいたでしょうが、子どものためには、自主・自立・自律を身につけさせたいと考えます。

②池の平までの山歩きについて

日本百名山を登った経験から、山歩きで一番大切なものは、

i : 水(戻ってきたときに水筒に少し残っていることが大切)

ii : グループで歩くときの順序は、リーダーがトップ、2番は体力が無い者で仲間を思いやる。

iii : 山で一番怖いものは雷

指導通り理想的な登り方をしていました。残念なことは、車道を歩くようになって少しバラバラになって残念でした。

③カレーライスのおいしさ

自分たちが切った野菜で作ってもらったカレーライス、ものすごく美味しかったです。多くの子どもがおかわりをしたいので、3回目のおかわりを規制した程でした。自分で自分の食事を作る楽しさやその経験を多くしてやる必要と感じました。

④かかとの揃った靴

出発式で子どもとかかとを揃えようと約束しました。今までの私の経験から、遊びに来た気分で宿棟での乱雑さが目立ちました。約束を守ってくれたので、だいぶそのことが定着しました。これから高齢者になるまで常に自分の靴、家族の靴、周りの人の靴を揃えられる、礼儀正しく躰された子どもになるといいなと願っています。

⑤キャンプファイヤーでのダンスの好きなこと

もう異常と感ずるほど踊り狂っていました。特に、よさこいとジンギスカンは大好きでした。この年齢の子どもは、自分の体力をもてあまし、自分を表現することが好きなんだなあ。

うらやましいな！！ すばらしいなあ！！

⑥沼津市立少年自然の家に着いてすぐのターザン遊び

自然の家で宿泊されたことのある保護者の中には経験があるかもしれません。宿棟の前の大きなけやきにぶらさがったロープでブランコ遊びをしていました。35年前にもありました。野生児

のようでいいなあ！！

これらの経験や学んだことが、5年後10年後、大げさに言えば終生、頭の隅に残ることを期待しています。でも、問題や課題もたくさん残りました。(子どもだから当然です)

①箸の持ち方＝鉛筆の持ち方と同様

日本人として正しい持ち方をして、美しくなってもらいたいです。

②食事をする時の美しい姿勢、

お茶碗を持ってご飯を食べること、味噌汁を飲むこと、

③風呂への入り方、自分の体を洗わずに浴槽に入ったり、タオルを入れたり……………

④その他

大きなお世話ですが、保護者としても子どもへの躰についてさらに大きく成長しましょう。